

2022年度  
事業報告書  
収支決算書

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月31日



## 2022年度事業報告書

### I. 総括

2016年8月、日本財団 TOKYO 展 2020(任意団体)として設立、2016年10月3日に一般財団法人に移行した。2017年4月、これまで以上に全ての人が共に生活できる社会の実現をより一層加速させるため、新たに舞台芸術公演の開催を事業内容に加えることとし、団体名称を「一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」に変更した。

一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS の設立から6年目にあたる2022年度は、以下の事業を実施した。

- (1) 企画展「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 展 (仮称)」は、当初2020年7月から東京オリンピック、パラリンピックに合わせて2か月間、船の科学館(東京・お台場)を会場に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、1年間延期することとした。その後も展覧会の内容について関係団体と協議・検討してきたがまとまらず、同展の開催を断念することとなった。なお、本事業は「DIVERSITY IN THE ARTS 事業基金」として、多様性や社会的包摂につながる芸術文化活動の取り組みの推進に係る事業に活用することとなった。
- (2) 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の事業内容を広く周知するため情報発信に努めた。
- (3) 公募事業では、2021年度「第4回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から予定していた関連イベント開催は見送り、授賞式は中止した。また、助成事業開始後に、阪急うめだ本店(大阪)での公募展開催依頼を受け実施することとなった。2022年度事業として「第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を実施し、障害のある人にアート活動の機会を提供するとともに、広く社会に発信するために作品募集から展覧会及び授賞式の実施準備を行った。今年度は、東京、横浜に加え大阪会場での開催も当初から予定し実施した。
- (4) 多様性をテーマにした舞台芸術のプログラムでは、皆が支えあう社会の実現を目指して音楽、ダンス、演劇など様々な企画による舞台芸術のシリーズ「True Colors Festival」を2021年度に続き実施した。2022年度は新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、海外での国際交流公演や国内での音楽ライブ等リアルなパフォーマンスアート事業を再開し、メッセージの発信に継続して取り組んだ。加えて、社会的波及効果を高めることを目的に、日本全国7か所を巡るツアー「True Colors CARAVAN」をFMラジオ番組とのタイアップで実施した。その他公式ウェブサイト、SNS、You Tube、メールマガジンや、著名人やインフルエンサーも活用して、多様性や社会的包摂のメッセージを国内外に幅広く発信した。

## II. 実施事業の概要

### A. 障害者等によるアート作品の展覧会の開催

#### a. 企画展「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 展（仮称）」

2022 年度も、前年度同様、日本財団と内容や方向性の策定にあたり協議を重ねてきたが結論は出ず、展覧会の開催を断念することとなった。

#### b. 企画展会場の管理及び復帰

2022 年 12 月、事業の中止に伴い、保管していた船の科学館所蔵の模型等を同所に返却した。また、企画展の Web ページを閉鎖した。

#### c. DIVERSITY IN THE ARTS 事業基金の設立

本企画展事業は、「DIVERSITY IN THE ARTS 事業基金」として再始動することとなり、今後、多様性や社会的包摂につながる芸術文化活動の取り組みの推進に係る事業を実施することとなった。

### B. 情報発信

ホームページや各種媒体を通じて、各種事業の情報発信に努めた。

#### a. Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」

「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」のメインサイトとして、取材・企画制作記事掲載を中心に、当団体実施イベントや情報を伝えるページを随時更新公開した。

今年度は企画記事 31 本を制作し、前年度制作分を合わせて 34 本を公開した。関係イベントなどのニュース記事 48 本を作成・公開した。また、公開済みの日本語記事を英訳した英語記事を 17 本制作して順次公開した。

本 Web サイトへの年間総訪問者数は延べ 18,358 人で、ページビュー数は 218,030PV であった。

2021 年度より、Web メディア運営の現状や今後のあり方について再検討し、ユーザーヒアリングなどを経て、サイトデザインや運営のリニューアル改善を行なった。スマホユーザーが多数を占めつつある現状に対応するデザインとした。Web アクセシビリティも考慮したより良い Web 発信のため、Web エディターの新設など作業行程やチーム編成の見直しを行なった。

また、より多様な企画記事発信のために、編集ディレクションを複数に依頼して記事制作を進めた。

#### b. ソーシャルメディアとの連携

Facebook、Instagram、Twitter と Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を連動させ、情報の拡散に努めた。2023 年 3 月末時点で、Facebook の「いいね」が 2,353 件、フォロワー数 2,988 人、Instagram のフォロワー数 3,439 人、Twitter のフォロワー数は 242 人となり、堅実に数を伸ばしている。

c. 「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」の発行

Web メディアで公開する記事を再構成し、フリーペーパー「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」として、12 号と 13 号を発行した。

編集：MONKEYWORKS、デザイン：高い山

■DIVERSITY IN THE ARTS PAPER 12 特集：LET' S EAT ART～アートを食べよう！～

発行日：2022 年 9 月 30 日

発行部数：20,000 部

印刷仕様：タブロイド版 24 ページ

■DIVERSITY IN THE ARTS 13 特集：テクノロジー、その先へ

発行日：2023 年 3 月 25 日

発行部数：15,000 部

印刷仕様：タブロイド版 24 ページ

各号とも全国各地の文化施設、福祉施設、学校、書店、カフェ、イベント会場等に発送して配架・配布協力をしてもらうと同時に、個人や新規の配架協力希望者などに発送対応した。特に 12 号の発行時は True Colors FESTIVAL のイベントと連携した配布を行い、プレゼント付き読者アンケートを実施して PAPER12 に関する読者からのフィードバックを獲得することができた。

d. メールマガジンの配信

年間ほぼ月 1 回のペースで計 12 回、延べ 33,587 ユーザー宛てにメールマガジンを配信した。

C. 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」の実施

a. 「第 4 回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」授賞式及び展覧会

2021 年度（第 4 回）において選出された作品を展示した展覧会を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していた関連イベントは見送り、授賞式は中止した。また、阪急うめだ本店（大阪）での公募展開催依頼を受け実施することとなった。

(1) 授賞式の開催（中止）

開催日 2022年4月16日(土)  
会場 Bunkamura Gallery

(2) 展覧会（開催）

名称 第4回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展  
主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS  
共催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）  
阪急うめだ本店（大阪会場）

協力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ  
Bunkamura（東京会場）

展覧会アートディレクター 中津川浩章（美術家／アートディレクター）

会場 <東京会場>

会期 2022年4月13日(水)～4月24日(日)

時間 10:00～19:00（13日(水)は12:00 OPEN）

※13日(水)10:30～12:00 は報道関係者向け内覧会開催

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

<横浜会場>

会期 2022年4月27日(水)～5月1日(日)

時間 9:30～18:00（4月29日(金)祝、5月1日(日)は17:00まで）

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

<大阪会場>

会期 2022年6月15日(水)～7月11日(月)

時間 10:00～20:00（7月11日(月)は16:00まで）

会場 阪急うめだ本店 9階 祝祭広場

内容 <東京会場・大阪会場>

第4回入選作品の中から81点の展示

受賞作品（9点）、入賞作品（54点）、国外佳作作品（7点）、

別枠作品（11点）

<横浜会場>

第4回入選作品の中から63点の展示

受賞作品（9点）、入賞作品（54点）

来場者数（延数） 東京会場：4,047名 横浜会場：699名

大阪会場：24,189名

(3) その他（制作完了）

- ・ 図録制作（700部 ※第4回入選作品の掲載）
- ・ 各種チラシ制作

b. 「第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

障害のある人にアート活動の機会を提供し、有能なアーティストの発掘、支援を行い、社会に発信することを目的に、障害のある方を対象にアート作品の公募、審査、展覧会及び授賞式を実施した。

### (1) アート作品の公募

募集期間 2022年6月15日(水)~6月30日(木)

募集内容 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。

応募点数 1作者につき3点以内

出品規格 絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。  
素材やテーマは自由。

平面作品 縦200cm×横120cm以内

立体作品 高さ200cm×奥行150cm×重量50kg以内

### (2) 公募作品の審査・選考

審査員

秋元雄史 東京藝術大学 名誉教授

上田バロン FR/LAME MONGER 代表、アーティスト、イラストレーター

エドワード M. ゴメズ brut journal 創刊者 兼 編集長

中津川浩章 美術家、アートディレクター

永野一晃 写真家

望月虚舟 書家

審査方法

<一次審査> 国外応募は7月下旬、国内応募は8月中旬に審査員による書類(写真)審査を実施。

<二次審査> 審査員立会いのもと、一次審査通過作品の現物審査を実施。審査員賞/海外作品賞/入賞/佳作併せて128作品を選出

二次審査(現物審査)実施日 2022年10月23日(日)

応募作品数 2,246作品(国内応募2,079作品、国外応募167作品)

### (3) 授賞式及び展覧会の開催

2022年度(第5回)において、選出された作品を展示した展覧会及び授賞式を実施した。

- ・ 授賞式、トークセッション

開催日 2023年4月15日(土)

時間 14:00~16:00

会場 阪急うめだ本店 9階 阪急うめだホール

出席者 審査員賞・海外作品賞受賞作家、審査員、関係団体役員等関係者

トークセッション登壇者 秋元雄史(東京芸術大学名誉教授)

中津川浩章(美術家、アートディレクター)

- ・ 展覧会

名称 「第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

主 催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS  
共 催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）  
協 力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ  
Bunkamura（東京会場）阪急うめだ本店（大阪会場）  
展覧会アートディレクター 中津川浩章（美術家／アートディレクター）  
会 場 <東京会場>  
会期 2023年3月15日(水)～26日(日)  
時間 10:00～19:00（3月15日(水)は15:00開場）  
※15日(水)13:00～15:00は報道関係者向け内覧会開催  
会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery  
<横浜会場>  
会期 2023年3月29日(水)～4月2日(日)  
時間 9:30～18:00（4月2日(日)は17:00まで）  
会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール  
<大阪会場>  
会期 2023年4月12日(水)～4月17日(月)  
時間 11:00～19:30（4月17日(月)は16:00まで）  
会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール  
内 容 <東京会場・横浜会場・大阪会場>  
第5回入選作品の中から87点の展示  
受賞作品（9点）、入賞作品（53点）、  
国外佳作作品（13点）別枠作品（12点）  
来場者数（延数） 東京会場：5,896名 横浜会場：971名  
大阪会場：2,200名

#### (4) その他（制作完了）

- ・ 図録制作（600部※第5回入選作品の掲載）
- ・ 各種チラシ制作

#### D. 多様な個性のあるアーティストとの連携による舞台芸術シリーズの実施

2020年度から継続実施している「True Colors Festival—超ダイバーシティ芸術祭—」事業では、2022年度に海外公演、国内公演を計2本実施した。また、You Tube を用いたオンライン番組「True Colors CHANNEL」では24本の番組を配信した。2022年11月7日には、TOKYO FMで「SOCIAL LOCKS SPECIAL」を放送した。

2021年度から実施している「True Colors CARAVAN」事業では、全国7か所を巡り、ワークショップ、作品発表、トークイベント等を開催した。また、2021年11月から2022年10月までTOKYO FMで放送している若者層をターゲットとした番組「SCHOOL OF LOCK」



内で、若者の障害・性等生きづらさに着目したコーナー「SOCIAL LOCKS」を制作・放送した。

その他、Web ページ、Twitter 等の SNS を活用した情報発信を行った。

**a. 公演「True Colors Festival in アゼルバイジャン」**

時 期 2022年6月24日(金)～25日(土)

場 所 バクー海岸公園 (アゼルバイジャン共和国バクー市)

内 容

日本とアゼルバイジャン共和国の国交樹立 30 周年を迎えた 2022 年、「日アゼルバイジャン友好年」と銘打ち、両国の文化・経済・政治等の様々な分野での交流事業の一環として開催した。両国の障害のあるアーティスト 19 名が多彩なステージを繰り広げ、ダイバーシティ&インクルージョンの世界観を実現することができた。2 回の公演で多数の観客が集まり、「障害」ということを特別視することなく、両国の音楽やダンスを楽しんでいた。

来場者数 約 8,000 名

**b. 公演「True Colors SPECIAL LIVE～超いろとりどり！音楽ライブ～」**

時 期 2022年9月22日(木)

場 所 NHKホール (東京都渋谷区)

内 容

「ダイバーシティを体感する音楽ライブ」として、舞台も客席も多様な人々が集い、楽しめることを目指したイベントを実施した。多種多様な個性が光る障害のあるパフォーマーを中心に、知名度の高いアーティスト・タレントも出演し、音楽やダンス、トークを主軸に構成した。出演者同士のコラボレーションや歌で手話表現する「手話パフォーマンス」等で会場を盛り上げた。

なお、この模様は、2022年11月12日にNHK Eテレにおいて特別番組として放送された。

来場者数 1,978名 (うち、鑑賞サポート席利用32名)

**c. True Colors CHANNEL の開設**

時 期 2022年5月～2023年3月

場 所 オンライン (You Tube)

内 容

You Tube 上にダイバーシティについて考える番組「True Colors CHANNEL」を開設し、高橋ひかる氏を進行役に招き、ナビゲーターとともに、障害や性、世代、言語、国籍等多様なゲストを招き、貴重な体験やダイバーシティ&インクルージョン (D&I) について伺った。

制作本数 24 本 (視聴回数 773,547 回 2023年3月15日現在)

No.	タイトル	ゲスト	No.	タイトル	ゲスト
1	車椅子でもアイドルを諦めない!!	猪狩ともか	13	“成金障害者”と呼ばれて	渋谷真子
2	私にとって難聴は個性	難聴うさぎ	14	“目がおかしい”バカにされても障害認定なし…“グレー”の葛藤	義眼少女びる
3	「違い」って「エモい」!	DAIKI	15	僕は吃音症で“良かった”	ラッパー連磨
4	わたし、レズビアンです	滝沢ななえ	16	違うからこそ、おもしろい	かんばらけんた
5	俺は病と“等価交換”で超人になった	関根シュレック秀樹	17	自分を責め続けた15年	あごち
6	自分で自分を愛して	桃果愛	18	書けない思いを「描く」	濱口瑛士
7	僕は、電車事故で手足3本を切断しました	山田千紜	19	誰も“置き去りにしない”世界へ	MORIKO JAPAN
8	恋愛ナシ、性愛ナシで何が悪いの?	中村健 (なかけん)	20	障害は“無味無臭”	柳家花緑
9	正直、視覚障害だとバテたくない…	廣瀬悠・廣瀬順子	21	U-N-I (You and I) ~ 温かい世界へ ~ Katy Perry x Kyary Pamyu Pamyu	ケイティ・ペリー、 きやりーぼみゅぼみゅ
10	わたし今、幸せです	西原さつき	22	「True Colors Festival THE CONCERT 2022」 舞台上に潜入	ryuchell、難聴うさ ぎ、猪狩ともか ほか
11	発達障害でも「まあいっか」	あつの裏夫妻	23	向き不向きより、前向き	葦原海
12	“異彩”にリスペクトを	松田崇弥	24	TCFファミリー・スペシャル座談会	あつの裏、 難聴うさぎ、あごち

#### d. ラジオ番組「SOCIAL LOCKS! SPECIAL」の放送

放送日 2022年11月7日(月) 22:00~23:50 放送

放送局 TOKYO FM他JFN系38局で放送

内 容

2022年10月31日まで「SCHOOL OF LOCK!」内で放送したTrue Colors CARAVAN タイアップコーナー「SOCIAL LOCKS」のスペシャル番組として放送した。ゲストにTCFアンバサダーのryuchell氏、CARAVAN PerformersリーダーのDAIKI氏を迎え、True Colors CARAVANの経験や、これまでのメッセージや反応等を紹介しながら、10代リスナーのエネルギーを感じる放送であった。

#### e. SNS (Twitter、Facebook、Instagram) の活用による情報発信

時 期 2022年4月~2023年3月

場 所 オンライン

内 容

これまでTwitter、Facebook、Instagram等のSNSを活用した情報発信を行ってきたが、2022年度はTwitterをこれまで以上に活用し、True Colors CARAVAN、True Colors Festival in アゼルバイジャン、True Colors SPECIAL LIVE、True Colors Channel等の各事業を横断的に情報発信し、それぞれの事業がTrue Colors Festivalの各事業であることを印象づけるとともに、True Colors Festivalやダイバーシティへの関心の普及・啓発に取り組んだ。

また、オンライン上でのつながりや共感者を生み出す仕組み作りを行った。その他にもクイズ、アンケート、プレゼントなどのフォロワー参加型企画を実施し、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に触れ、考える機会を設けた。

投稿回数 1,901回

フォロワー数 31,430

#### f. True Colors CARAVAN 事業の実施

時 期 2022年4月～2022年10月

場 所 全国7か所（東京都渋谷区、愛知県名古屋市、広島県広島市、北海道札幌市、大阪府大阪市、福岡県北九州市、大分県別府市（開催順））

## 内 容

これまでTrue Colors Festivalが発信してきた「ダイバーシティ&インクルージョン」を全国に展開することを目的に、2022年4月から大型商業施設や屋外イベントスペースを会場に障害のあるパフォーマーらによる巡回型事業 True Colors CARAVAN を実施した。各地では、ワークショップ、トークイベントや作品発表を行うとともに、各地の障害のあるパフォーマーと交流を行い、新たな関係性の創出につながった。

また、2021年12月からラジオ番組「SCHOOL OF LOCK!」（TOKYO FM制作、JFN38局放送）の番組内に「SOCIAL LOCKS」のコーナーを設け、年齢や性、障害などに着目した内容の放送を行った。全国約45人の聴取者枠（JFN各局ラジオ聴取率調査より）で、48週にわたって放送を実施した。期間中リスナーから寄せられたメッセージは350件を超え、うち45件が番組内で紹介された。また、各地で開催される True Colors CARAVAN の事前告知も行った。

さらに、各会場では、「SOCIAL LOCKS 課外授業」と題して、SCHOOL OF LOCK! 番組パーソナリティが、ゲストとダイバーシティや違いについて語った。

- ・ True Colors CARAVAN in Tokyo（出発式）

開 催 日 2022年4月21日（木）

開催場所 恵比寿ガーデンプレイスセンター広場（東京都渋谷区）

来場者数 180名

- ・ True Colors CARAVAN in Nagoya

開 催 日 2022年5月28日（土）

開催場所 アスナル金山 明日なる！広場（愛知県名古屋市）

ワークショップ会場 北名古屋市健康ドーム 軽運動室

来場者数 11,200名

- ・ True Colors CARAVAN in Hiroshima

開 催 日 2022年6月19日（日）

開催場所 アリスガーデン（広島県西新天地公共広場）（広島県広島市）

ワークショップ会場 学校法人広島YMCA 学園

広島YMCA 国際文化センター コンベンション

来場者数 1,400名

- ・ True Colors CARAVAN in Sapporo

開 催 日 2022年7月17日（日）

開催場所 札幌市北3条広場（アカプラ）（北海道札幌市）  
ワークショップ会場 かでる2・7レクリエーション研修室  
来場者数 570名

・ True Colors CARAVAN in Osaka

開催日 2022年8月14日(日)  
開催場所 グランフロント大阪うめきた広場メインスペース（大阪府大阪市）  
ワークショップ会場 1 福島区民センター1階ホール  
来場者数 1,600名

・ True Colors CARAVAN in Kitakyushu

開催日 2022年9月11日(日)  
開催場所 THE OUTLETS KITAKYUSHU アクティベーションフィールド  
（福岡県北九州市）  
ワークショップ会場 若松市民会館 大ホール  
来場者数 1,800名

・ True Colors CARAVAN in Beppu

開催日 2022年10月23日(日)  
開催場所 別府市役所 中庭「市民ひろば」（大分県別府市）  
ワークショップ会場 別府市役所 大会議室  
備 考  
協力 おおいた障がい者芸術文化支援センター、別府市旅館ホテル組合連  
合会、BEPPU PROJECT、立命館アジア太平洋大学  
後援 大分県、別府市  
来場者数 1,300名

### III. 総務報告

#### 1. 評議員・役員に関する事項

##### (1) 評議員

吉倉和宏 2020年7月27日再任 日本財団常務理事

菅井明則 2020年7月27日再任 笹川平和財団常務理事

中西由郎 2020年7月27日再任 元日本ゲートボール連合専務理事

##### (2) 理事

横尾紀彦(理事長) 2022年6月29日再任 につぼん文楽プロジェクト理事長

小澤 直 2022年6月29日再任 日本財団パラスポーツサポートセンター常務理事

菅原悟志 2022年6月29日再任 ブルーシー・アンド・グリーンラド財団理事長

##### (3) 監事

山田恵一郎 2022年6月29日就任 笹川平和財団部長

以上 2023年3月31日現在

#### 2. コロナ禍における事務局体制

2022年3月以降、新型コロナウイルスの感染状況が減少傾向にあることから、3月21日から、事務所への出勤日数を徐々に増やす措置を講じ、2022年9月にはテレワークを併用するもののほぼコロナ前の状態に戻った

なお、職員の出張やイベントの実施、障害者施設を訪問する際には、その都度 PCR 検査を受けさせ感染対策を継続実施した。

#### 3. 職員について

今後の事業実施に必要な人員を確保するため、2022年4月に職員9名（臨時職員を含む）との雇用契約を更新した。加えて、2022年6月、9月、10月に各1名ずつ計3名を有期契約職員（臨時職員を含む）として採用した。また、引き続き人材派遣会社からも1名を継続して受け入れた。

なお、2022年6月、8月に各1名が、2023年3月に5名の計7名が退職した。



# 2022年度決算報告書

## 2023年3月期決算の前提条件

2022年4月～2023年3月

### ■事業費・管理費組替計算根拠（明細別紙）

・事業費の比率	.....	96.1%
・管理費の比率	.....	3.9%

### ■正味財産増減計算書内訳表

・受取助成金の配分		
事業費（事業会計）	.....	98.4%
管理費（法人会計）	.....	1.6%

以上

## 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	548,681	917,280	-368,599
普通預金(三菱-虎ノ門)	1,212,426	1,212,426	0
普通預金(三菱-本店)	177,520,726	1,115,594,353	-938,073,627
普通預金(みずほ-神田)	21,088,993	381,171,784	-360,082,791
普通預金(郵貯-神田錦町)	117	92	25
普通預金(住友-神田)	1,650,768	1,650,350	418
普通預金(楽天-第二営業)	214,807	7,078,472	-6,863,665
未収金	0	40,686	-40,686
仮払金	0	0	0
預け金	62,946	63,708	-762
前払費用	1,303,918	1,303,918	0
立替金	40,000	7,681	32,319
<b>流動資産合計</b>	<b>203,643,382</b>	<b>1,509,040,750</b>	<b>-1,305,397,368</b>
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
基本財産※	3,000,000	3,000,000	0
普通預金(郵貯-神田錦町)			
<b>基本財産合計</b>	<b>3,000,000</b>	<b>3,000,000</b>	<b>0</b>
(2) 固定資産			
有形固定資産	347,046,156	380,975,396	-33,929,240
<b>固定資産合計</b>	<b>347,046,156</b>	<b>380,975,396</b>	<b>-33,929,240</b>
(2) その他固定資産			
敷金	4,158,000	4,158,000	0
<b>その他固定資産合計</b>	<b>4,158,000</b>	<b>4,158,000</b>	<b>0</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>354,204,156</b>	<b>388,133,396</b>	<b>-33,929,240</b>
<b>3. 特定資産</b>			
事業基金	927,374,705	0	927,374,705
<b>特定資産合計</b>	<b>927,374,705</b>	<b>0</b>	<b>927,374,705</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,485,222,243</b>	<b>1,897,174,146</b>	<b>-411,951,903</b>
<b>II 負債の部</b>			
(1) 流動負債			
未払金	6,978,510	67,465,259	-60,486,749
預り金	1,312,089	877,915	434,174
仮受金	126,252,759	1,355,331,622	-1,229,078,863
<b>流動負債合計</b>	<b>134,543,358</b>	<b>1,423,674,796</b>	<b>-1,289,131,438</b>
(2) 固定負債			
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>134,543,358</b>	<b>1,423,674,796</b>	<b>-1,289,131,438</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(内基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(内特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,347,678,885	470,499,350	877,179,535
<b>正味財産合計</b>	<b>1,350,678,885</b>	<b>473,499,350</b>	<b>877,179,535</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>1,485,222,243</b>	<b>1,897,174,146</b>	<b>-411,951,903</b>

※基本財産については、これまで郵便貯金口座で管理、指定正味財産において基本財産に充当していたが、定款第5条、第6条に基づき、基本財産としてより明確化することとした。



## 貸借対照表内訳表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	0	548,681	548,681
普通預金(三菱-虎ノ門)	0	1,212,426	1,212,426
普通預金(三菱-本店)	170,419,897	7,100,829	177,520,726
普通預金(みずほ-神田)	20,245,433	843,560	21,088,993
普通預金(郵貯-神田錦町)	0	117	117
普通預金(住友-神田)	1,650,768	0	1,650,768
普通預金(楽天-第二営業)	214,807	0	214,807
未収金	0	0	0
仮払金	0	0	0
預け金	0	62,946	62,946
前払費用	0	1,303,918	1,303,918
立替金	0	40,000	40,000
流動資産合計	192,530,905	11,112,477	203,643,382
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産 普通預金(郵貯-神田錦町)	0	3,000,000	3,000,000
基本資産合計	0	3,000,000	3,000,000
(2) 固定資産			
有形固定資産	347,046,156	0	347,046,156
固定資産合計	347,046,156	0	347,046,156
(3) その他固定資産			
敷金	0	4,158,000	4,158,000
その他固定資産合計	0	4,158,000	4,158,000
固定資産合計	347,046,156	7,158,000	354,204,156
3. 特定資産			
事業基金	927,374,705	0	927,374,705
特定資産合計	927,374,705	0	927,374,705
<b>資産合計</b>	<b>1,466,951,766</b>	<b>18,270,477</b>	<b>1,485,222,243</b>
<b>II 負債の部</b>			
(1) 流動負債			
未払金	5,475,968	1,502,542	6,978,510
預り金	0	1,312,089	1,312,089
仮受金	124,225,674	2,027,085	126,252,759
流動負債合計	129,701,642	4,841,716	134,543,358
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
<b>負債合計</b>	<b>129,701,642</b>	<b>4,841,716</b>	<b>134,543,358</b>
<b>III 正味資産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	3,000,000	3,000,000
(内基本財産への充当額)	(0)	(3,000,000)	(3,000,000)
(内特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,337,250,124	10,428,761	1,347,678,885
<b>正味財産合計</b>	<b>1,337,250,124</b>	<b>13,428,761</b>	<b>1,350,678,885</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>1,466,951,766</b>	<b>18,270,477</b>	<b>1,485,222,243</b>

# 正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益			
事業収益	1,390,512,689	505,769,047	884,743,642
受取助成金	1,390,066,689	504,475,692	885,590,997
事業収益	446,000	1,293,355	-847,355
② 雑収益			
受取利息	20,416	45,392	-24,976
雑収益	66	78	-12
雑収益	20,350	45,314	-24,964
経常収益計	1,390,533,105	505,814,439	884,718,666
(2) 経常費用			
① 事業費			
業務委託費	375,984,432	335,647,857	40,336,575
諸謝金	116,682	147,068	-30,386
印刷製本費	2,814,843	1,213,171	1,601,672
広報費	397,980	763,400	-365,420
会議費	688,096	254,109	433,987
旅費交通費	12,157,068	2,237,324	9,919,744
会場使用料	5,299,764	5,604,270	-304,506
通信運搬費	4,679,874	4,462,651	217,223
消耗品費	244,041	224,697	19,344
資料購入費	30,860	127,689	-96,829
修繕費	1,059,186	1,039,194	19,992
賃借料	1,269,785	958,650	311,135
減価償却費	33,929,240	33,929,240	0
保険料	359,620	30,690	328,930
租税公課(事業)	3,106,400	3,742,900	-636,500
諸会費		0	0
研修費		0	0
手数料(事業)	465,227	102,021	363,206
支払手数料(事業)		0	0
為替差損	3,734	0	3,734
雑損失		660	-660
雑費	484,575	1,735,250	-1,250,675
給料手当	31,836,829	31,662,432	174,397
法定福利費	5,292,658	4,901,643	391,015
人材派遣費	4,387,608	4,423,627	-36,019
事務消耗品費	1,592,922	1,802,460	-209,538
地代家賃	7,342,164	7,792,620	-450,456
・事業費 計(1)	493,543,588	442,803,623	50,739,965
② 管理費			
役員報酬	1,800,000	1,800,000	0
給料手当	5,552,820	5,291,628	261,192
法定福利費	924,676	819,196	105,480
通勤費	1,659,172	859,786	799,386
福利厚生費	440,890	198,538	242,352
人材派遣費	0	0	0
印刷製本費		0	0
会議費		18,930	-18,930
旅費交通費	795,018	142,787	652,231
通信運搬費	1,131,461	1,113,118	18,343
事務消耗品費	365,209	403,708	-38,499
修繕費	65,373	99,880	-34,507
水道光熱費	442,960	304,426	138,534
地代家賃	1,683,336	1,745,360	-62,024
新聞図書費		0	0
保険料	71,450	0	71,450
諸会費	134,175	131,450	2,725
リース料	2,978,804	3,044,512	-65,708
租税公課	70,000	70,000	0
支払手数料	316,199	332,502	-16,303
手数料	883,736	925,737	-42,001
雑費	493,877	322,174	171,703
事務所移転費	0	0	0
雑損失	826	711	115
・管理費 計(2)	19,809,982	17,624,443	2,185,539
経常費用合計(1)+(2)	513,353,570	460,428,066	52,925,504
当期経常増減額	877,179,535	45,386,373	831,793,162
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	877,179,535	45,386,373	831,793,162
当期一般正味財産増減額	877,179,535	45,386,373	831,793,162
一般正味財産期首残高	470,499,350	425,112,977	45,386,373
一般正味財産期末残高	1,347,678,885	470,499,350	877,179,535
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,350,678,885	473,499,350	877,179,535

**正味財産増減計算書内訳表**  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	1,368,271,622	22,241,067	1,390,512,689
受取助成金	1,367,825,622	22,241,067	1,390,066,689
事業収益	446,000	0	446,000
② 雑収益	20,350	66	20,416
受取利息	0	66	66
雑収益	20,350	0	20,350
経常収益計	1,368,291,972	22,241,133	1,390,533,105
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	31,836,829		
法定福利費	5,292,658		
人材派遣費	4,387,608		
事務消耗品費	1,592,922		
地代家賃	7,342,164		
業務委託費	375,984,432		
諸謝金	116,682		
印刷製本費	2,814,843		
広報費	397,980		
会議費	688,096		
旅費交通費	12,157,068		
会場使用料	5,299,764		
通信運搬費	4,679,874		
消耗品費	244,041		
資料購入費	30,860		
修繕費	1,059,186		
賃借料	1,269,785		
減価償却費	33,929,240		
保険料	359,620		
租税公課 (事業)	3,106,400		
諸会費	0		
研修費	0		
手数料 (事業)	465,227		
支払手数料 (事業)	0		
為替差損	3,734		
雑損失	0		
雑費	484,575		
・事業費計 (1)	493,543,588	0	493,543,588
② 管理費			
役員報酬		1,800,000	
給料手当		5,552,820	
法定福利費		924,676	
通勤費		1,659,172	
福利厚生費		440,890	
印刷製本費			
会議費			
旅費交通費		795,018	
通信運搬費		1,131,461	
事務消耗品費		365,209	
修繕費		65,373	
水道光熱費		442,960	
地代家賃		1,683,336	
新聞図書費			
保険料		71,450	
諸会費		134,175	
リース料		2,978,804	
租税公課		70,000	
支払手数料		316,199	
手数料		883,736	
雑費		493,877	
事務所移転費		0	
雑損失		826	
・管理費計 (2)	0	19,809,982	19,809,982
経常費用合計 (1) + (2)	493,543,588	19,809,982	513,353,570
評価損益等調整前当期経常増減額	874,748,384	2,431,151	877,179,535
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	874,748,384	2,431,151	877,179,535
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	874,748,384	2,431,151	877,179,535
当期一般正味財産増減額	874,748,384	2,431,151	877,179,535
一般正味財産期首残高	462,501,740	7,997,610	470,499,350
一般正味財産期末残高	1,337,250,124	10,428,761	1,347,678,885
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	1,337,250,124	13,428,761	1,350,678,885



# 監事監査報告書

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

理事長 横尾 紀彦 殿

本法人の2022年度事業年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を行いました結果、何れも適法かつ正確であることを認めます。

また、会計監査人西尾公認会計士事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

2023年 6月 8日

監事 山田 恵一郎 ⑩